

OASIS の風

-hear your heart-

住宅型有料老人ホーム
ナーシングホーム OASIS 知立



R6年



入居者様の声

S・N様 70代女性 : ALS : ナーシングホーム OASIS 知立入居中 コミュニケーション支援機器使用なし

S様は2020年より構音障害出現し、筋萎縮性側索硬化症（ALS）と診断されました。気管切開をされましたが、コミュニケーションボードに手書きで文字を書いてコミュニケーションを図っております。夜間帯のみ人工呼吸器を装着されておりますが、ほぼご自身にてセッティングされています。今回は、S様に電動車いすのご紹介をしていただきました。

私事ではありますが、最近電動リクライニング機能付き車椅子を使い始めました。もともと、リクライニングタイプの椅子を使っていましたが電動ではありませんでした。日中は座って過ごすことが多いですが、病気により首に力が入らず、垂れてしまうと戻せないといった状況となり難儀していました。しかしリモコン1つで動かせるリクライニング機能があることで首垂してもリクライニングを下げることで元の定位置に戻すことができ、車いすであるお陰で好きな体位で、好きな位置で過ごせるため重宝しています。

また、リクライニングを起こすことで立ち上がりやすくなったり、栄養を自分で注入するのもやりやすくなったりと以前よりも自分でできることが増えました。

頭を支えている部分は位置やパーツを調整でき、個人に合わせて使いやすく設定できるため使い心地も文句なしです。

同じような状況で困っている方たちに少しでも参考になれば嬉しいです。

（原文まま）



トピックス

「難病だべりん」のご紹介

神経難病患者・ご家族様、地域の支援者の皆様が自由に参加できる交流会「難病だべりん」をナーシングホーム OASIS 知立にて開催しましたのでご報告いたします。

「だべりん」とは、「だべる」=お喋りする と、三河弁の「りん」を組み合わせた言葉です。難病について自由に好きな事をお話していただく場所になればと名付けました。

第1回 3/13（水）、第2回 7/10（水）開催いたしました。

入居者様ご家族様やご遺族様、地域のケアマネジャーや保健師の方にご参加いただきました。難病のお薬についての勉強会開催や、ご家族様の“想い”を発表していただき、フリートークの時間も設けました。次回は11月に開催予定です。

